

国際ロータリー第 2790 地区（千葉県）第 8 グループ YOKAICHIBA ROTARY CLUB



イマジン
ロータリー

週報

会長 鈴木 英 人
副会長 菱木 智 仁
幹事 熱田 文 彦
広報・公共イメージ
向上委員長 熱田 寛 明

R.I 会長 ジェニファー・E・ジョーンズ
(ウインザー・ローズランド RC、カナダ)
第 2790 地区ガバナー 小倉 純夫 (松戸 RC)
第 8 グループガバナー補佐 信太 秀紀 (銚子 RC)

創立 昭和 37 年 (1962) 1 月 13 日
平成 29 年 (2017) 韓国富平 RC との姉妹クラブ締結
例会日 毎週火曜日 12:30~13:30
例会場 千葉興業銀行八日市場支店 (2 階)
事務局 千葉県匝瑳市八日市場イ 2571
TEL 090-3240-6397 (幹事)
FAX 050-3033-4137 (事務局)
<http://yokaichiba-rc.jp/>



No. 2883

第 18 回例会

ガバナー公式訪問 (旭 RC 合同)

旭市商工会館

令和 4 年 12 月 2 日 (火)



例会プログラム

旭 RC 第 2 9 4 5 回・八日市場 RC 第 2 8 8 3 回

合同例会・合同クラブ協議会プログラム

2022年12月2日（金）旭市商工会館

ガバナー公式訪問例会 12:30~13:30 進行/SAA 伊東篤史(旭 RC)

- ・点鐘 旭 RC 会長 飯田耕司
- ・ソング 「君が代」、「奉仕の理想」 斉唱
- ・来賓紹介 SAA 伊東篤史 (旭 RC)
国際ロータリー第 2 7 9 0 地区ガバナー 小倉純夫様 (松戸 RC)
第 8 グループガバナー補佐 信太秀紀 (銚子 RC)
 - ㊦ 幹事 宮内秀章 (銚子 RC)
 - ㊦ 幹事 寺内忠正 (銚子 RC)
- ・会長挨拶 旭 RC 会長 飯田耕司
- ・幹事報告 旭 RC 幹事 佐野修一
八日市場 RC 幹事 熱田文彦
- ・ガバナー紹介 第 8 グループガバナー補佐 信太秀紀 (銚子 RC)
- ・卓話 国際ロータリー第 2 7 9 0 地区ガバナー 小倉純夫様 (松戸 RC)
- ・謝辞 旭 RC 会長 飯田耕司
- ・ニコニコ BOX 紹介 旭 RC 親睦活動委員会
八日市場 RC フェロウシップ・親睦活動委員会
大久保要治
- ・出席報告 旭 RC 例会運営委員会 豊嶋陽介
八日市場 RC 出席委員会 南 信好
- ・点鐘 旭 RC 会長 飯田耕司

記念撮影

会長挨拶

・・・旭 RC 飯田耕司会長



本日は早朝からサッカー観戦でお疲れの方もいらっしゃると思いますが、最後までお付き合い宜しくお願い致します。

今年の5月に八日市場ロータリークラブ創立60周年記念ゴルフ大会が盛大に開催されました。私も下手くそながら参加いたしました。が劇的なドラマが起こることもなく、参加賞のロータリーキャップをいただきました。このロータリーキャップですが、旭ロータリークラブ野球同好会の甲子園出場の際に大いに活用させていただきました。コロナ禍で八日市場ロータリークラブさんと一緒に何かするという機会も少なくなりましたが、今後ともぜひ宜しくお願い致します。

本日は小倉純夫ガバナー、信太ガバナー補佐、宮内ガバナー補佐幹事、寺内ガバナー補佐幹事をお迎えして国際ロータリー並びに第2790地区のロータリーの進むべき方向についてお話をいただける貴重な機会となりますので、よくお話を伺い、これからのクラブ運営に活かしていきたいと思っております。本年度の国際ロータリーのテーマは「イメージロータリー」です。明日からの各クラブ運営が良い方向に向かうことをイメージしまして会長挨拶と代えさせていただきます。

幹事報告

◇旭 RC 佐野修一幹事より報告がございました。



◇八日市場 RC 熱田文彦幹事



1. 例会場及び時間の変更

*旭ロータリークラブ

12月23日(金)は夜間例会のため、点鐘18:30となります。

12月30日(金)は休会となります。

2. 会報受領クラブ名

*本日はございません。

3. 週報礼状

*本日はございません。

4. その他

◇今月のロータリーレートは138円となります。

◇12月6日の例会はクラブ年次総会となりますので皆様の出席を宜しくお願い致します。

ガバナー紹介

◇第8グループガバナー補佐 信太秀紀様よりご紹介がありました。



皆さんこんにちは。まずは10月30日の第8グループR情報研修会の御礼を述べさせていただきます。おかげさまで第8グループR情報研修会、大成功裡のうちに終了することができました。アグネス・チャン氏の講和、開会の点鐘から閉会まで、実は地元紙の大衆日報紙に全6回の特集が組まれまして、一語一句載りました。アグネ

ス・チャン氏がロータリーのことを非常に勉強していただいていたのでそれもすべて載っておりまして、いい広報の機会になりました。また、ロータリーの友誌から記事の依頼がありまして、数枚の写真と記事を投稿してございますので、1月から2月頃の掲載となっておりますのでぜひご覧ください。それではガバナーの紹介をさせていただきます。

小倉純夫ガバナーは松戸ロータリークラブに所属をされております。中央大学の法学部を昭和50年に卒業されております。平成20年には千葉県弁護士協会の会長をされておられて、現在は松戸で最も歴史の古い「わかば法律事務所」を経営されております。以上ガバナーの紹介とさせていただきます。

卓 話

国際ロータリー第2790地区
2022-23年度ガバナー 小倉純夫様 (松戸)



皆さんあらためましてこんにちは。第2790地区今年度ガバナーを務めます、松戸ロータリークラブ所属の小倉と申します。実は昨日から寝ないで今朝4:00からテレビを見ておられて、大変勇気と元気をいただきました。今日の大逆転劇、大変感動いたしました。

平素いつも旭ロータリークラブさん、八日市場ロータリークラブさんから週報をいただいております。いつも楽しみにしております。改めまして御礼申し上げます。

今年の3月に、八日市場ロータリークラブ例会にリモートで参加をさせていただきました。旭ロータリークラブは週報で毎回拝見しております。そういった意味では大変親しみのある両クラブです。それから10月の地区大会では、地区を介して地区大会を盛大に行うことができました。これも皆さんのおかげです。10月23日には成田空港において世界ポリオデーのイベントを開催しました。400名位の方に参加をいただいて大変盛り上がりました。先週、神戸でロータリー研究会が開

催されまして、日本の34地区の中で3つポリオ撲滅運動のうちの1つに選ばれました。早速ではありますが、お話に入らせていただきます。

これからのロータリーを考える ～本年度 RI テーマと地区活動方針について～

1 本年度 RI テーマと地区活動方針について

- ・2022年度 RI 会長ジェニファー・ジョーンズ氏 (RI 初の女性会長) は、本年度テーマを IMAGINE ROTARY (イマジン ロータリー) として、「より良い未来をイマジン (想像) し、世界により良い変化を！」と呼びかけた。これを受けて次年度地区スローガンとして次のとおり決定。「**ロータリーの仲間との信頼を繋ぎ、千葉から世界を変えてゆこう!**」
- ・従来考えていた地区スローガン「ロータリーを楽しみながら、地域で、そして世界で良いことをしよう!」は、第2スローガンとする。ロータリーの基本は親睦(fellowship)と奉仕(service)

2 ガバナーの任務・役割について

- ・クラブの活性化, 元気なクラブ作りの支援に尽きる→その為の DLP, CLP の活用→クラブ, 会員が 主役→クラブの課題とその分析→解決策の検討 (ビジョンと行動計画)
- ・グループ再編問題, ガバナー補佐任命問題を通じて考えたこと 地区とクラブとのコミュニケーションの在り方, 信頼関係の再構築 職業奉仕の大切さ (四つのテスト), クラブの例会における親睦活動の大切さの再確認例会は心のオアシス (佐藤千寿氏)
- ・コロナ禍の中でのロータリー活動 (パンデミックの教訓) 2年半に及ぶ新型コロナウイルスの感染拡大→収束の見通し立たず (第7波の到来) →クラブ例会・行事等の中止 (又はオンライン化) →親睦奉仕活動の停滞, 会員の減少→最近の感染者激増→コロナとの共生 (会員の支援例会・親睦活動の在り方の再検討)

3 ロータリーの歴史を振り返る

- ・1905年→親睦と相互扶助から出発 (一業種一会員制) →社会奉仕の考え→四 (五) 大奉仕へ
- ・ロータリーとは、職業倫理を重んずる実業人, 専門職業人の集り (ロータリーの友 6頁)

- ロータリーの目的、理念→「意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むこと」「奉仕の理念」とは→他人を思いやり、他人の為になることをしようとする考え方 セントルイス大会決議 23-34 ロータリーの奉仕の基本理念の確立
- ロータリーの魅力とは、一つの人生哲学「入りて学び出でて奉仕せよ」(Enter to Learn, Go forth to Serve) 例会(親睦) →出会い、交流(切磋琢磨) →人間としての成長=信用 →安定した経営奉仕の実践
- 日本のロータリーは周回遅れか？(ガラパゴス化) Vocational Service(職業奉仕)に対する考え方の違い⇔「奉仕の理念」

4 ロータリーの変化とその対応

- 2001年：一業種一会員制の撤廃 2013年：職業のない人の入会資格を認める
- ロータリーのライオンズ化(団体寄付中心) I serve から) We serve へ
- 2016年の規定審議会一柔軟性の採用 {例会と出席} {会員身分} 標準ロータリークラブ定款の条項に従わない規定又は要件 をクラブ細則に含めることができる
- 2019年規定審議会 更なる柔軟性の確認 メーカーアップ期間を同じ年度内に拡大、職業分類の制限撤廃、ロータリークラブに RI 加盟を認める
- 何故ロータリーは柔軟性を採用したのか？→RIの危機感(会員の高齢化、減少)→北米、日本等での会員の減少とインド、ヨーロッパ、韓国での会員増加(別紙)→悪循環か？ RI と TRF の一体化→ {いずれライオンズクラブとの合併か？}
- 地域に応じた自治権、裁量権を認める方向？

5 これからのロータリーについて

- ロータリーの目的、四つのテスト、中核的価値観(親睦、奉仕、高潔性、多様性、リーダーシップ)は不変
- ロータリーのビジョン声明、行動計画、DEI(多様性、公平性、包摂性)の提唱

- 未来の形成委員会(SRF)→地区制度の見直し→内容は不明確(北米の会員の急減が実施の理由か) 2つのパイロット地区で実施(2022年4月規定審議会決議)

6 アフターコロナの新しいロータリーはどうあるべきか

→例会及び奉仕活動の在り方クラブの多様化→衛星クラブ、女性だけのクラブ、若者や老人だけのクラブ等
元気なクラブ作りの支援のための方策→元気なクラブとは？→CLPの活用

- クラブの中長期目標とその実現のための行動計画の策定(毎年見直しとチェック)
- 会員同士の交流を深める(クラブ内のオープンなコミュニケーション・DEIの浸透を図る)
- 会員の積極的参加を促す(例会、奉仕活動) 財団の補助金を利用して会員全員で奉仕プロジェクトを策定し、奉仕の意識を養い、それを実行する→参加したくなる例会と奉仕活動
- 会員の増強(退会防止)若い人達の入会が無ければロータリーは消滅する
- クラブの若手リーダーの育成→クラブのロータリー研修の実施
- ICTの推進(コロナ禍での例会の在り方を再考する)

DISTRICT 2790 ROTARY INTERNATIONAL

地区戦略計画委員会では、以下のとおり決意を表明し、戦略計画を策定し、これを10月31日の地区大会において決議いたしました。

【背景】

COVID-19はロータリー活動を止めた多くの世界の個人に深い影響を与えています。当地区は、過去の数年間で会員数が増え、活動が活発化してきていますが、当地区の会員数はここ数年の間に減少の傾向にあり、おこなわれてきた活動が持続可能な状態にない。また、地区内クラブと委員の減少と並び、この影響が顕著なものである。このため、地区内クラブと地区委員会の力を結集して、「ロータリー」運動が世界をリードする、地区ビジョンと戦略計画を打ち出す。

**国際ロータリー 第2790地区
2022年～25年 地区ビジョンと戦略計画**

我が地区のリソース

当地区は多岐にわたる活動が可能な多様な人々を擁護する目的の豊かな資源が豊富にあります。地区内各クラブと委員が、この機会を捉え、活動が活発化してきていますが、当地区の会員数はここ数年の間に減少の傾向にあり、おこなわれてきた活動が持続可能な状態にない。また、地区内クラブと委員の減少と並び、この影響が顕著なものである。このため、地区内クラブと地区委員会の力を結集して、「ロータリー」運動が世界をリードする、地区ビジョンと戦略計画を打ち出す。

地区ビジョン

私たちは、ロータリーの「奉仕の理念」に基づき、
ロータリーを愛しながら、地域社会でそして世界で、
持続可能なより良い未来を目指して、奉仕を實踐し、行動していきます。

戦略計画

地区は、クラブを支援するために、以下の戦略計画を実施します。

1. クラブを「守る」ために、DEIを推進し、会員数を拡大する。
2. 地域社会の需要をより豊富に満たすよう取り組む。
3. 中核的価値観に基づいて活動し、ロータリーの公認クラブを向上させる。
4. 地域社会のニーズに沿った高品質なプロジェクトを推進し、参加者の経験を向上させる。
5. クラブのビジョンと戦略計画の策定を奨励し推進する。

人はひとりで生きていけない
人はひとりで歩いていけない
人はひとりで生きていけない
人はひとりで歩いていけない
人はひとりで生きていけない
人はひとりで歩いていけない
人はひとりで生きていけない
人はひとりで歩いていけない

誰かの手を繋ぐことは
その手の痛みを覚えること
誰かの手を繋ぐことは
その手の痛みを覚えること
誰かの手を繋ぐことは
その手の痛みを覚えること

人が生きていく事は
誰かの手を繋ぐこと
誰かの手を繋ぐこと
誰かの手を繋ぐこと
誰かの手を繋ぐこと
誰かの手を繋ぐこと
誰かの手を繋ぐこと
誰かの手を繋ぐこと

その手の痛みを覚えること
その手の痛みを覚えること
その手の痛みを覚えること
その手の痛みを覚えること
その手の痛みを覚えること
その手の痛みを覚えること
その手の痛みを覚えること
その手の痛みを覚えること

人はひとりで生きていけない
人はひとりで歩いていけない
人はひとりで生きていけない
人はひとりで歩いていけない
人はひとりで生きていけない
人はひとりで歩いていけない
人はひとりで生きていけない
人はひとりで歩いていけない

謝辞 . . . 旭 RC 飯田耕司会長



活動指針についての卓話ありがとうございます。長らく続く新型コロナウイルス感染症は日常生活、仕事面においても様々な制約がついてまわりました。ロータリーにおける活動にも多大な影響を与えておりました。このような状況下ですけれども充実したロータリー活動を実践するための一つの考え方として以上の内容を活用させていただきます。ロータリーを元気な状態にするということは正直、この過疎化の地域ではなかなか大きな目標ではありますが、多様な個性を活用して進めていきたいと思っております。本日は長時間にわたりありがとうございました。

ニコニコボックス報告

◇旭 RC 親睦活動委員会より報告がありました。



◇八日市場 RC フェロウシップ・親睦活動委員会 大久保要治委員より報告がありました。



- ◇鈴木 勝彦君 ガバナーご苦労様です
- ◇栗田 壮一君 ガバナーご苦労様です
- ◇井上 峰夫君 ガバナーご苦労様です
- ◇大塚 榮一君 ガバナーご苦労様です
- ◇林 咲江君 ガバナーをお迎えして
- ◇鈴木 英人君 ガバナーをお迎えして
- ◇菱木 智仁君 ガバナーをお迎えして
- ◇大久保要治君 ガバナーをお迎えして
- ◇熱田 文彦君 ガバナーをお迎えして

14,000円
累計 291,500円

出席状況報告

◇旭 RC 例会運営委員会より報告がありました。



◇八日市場 RC 出席委員会 南信好委員長より報告がありました。



項目	会員総数	出席数	出席率%
本日 12/2	38名	15名	44.1%
前回 11/22	38名	18名	51.1%

◎出席免除者数 6名

○点 鐘 飯田 耕司会長 (旭)

クラブ協議会

13:40~15:10

進行/八日市場 RC 幹事 熱田文彦

1. 開会のことば 八日市場 RC 幹事 熱田文彦
2. 会長挨拶 八日市場 RC 会長 鈴木英人
3. ガバナー挨拶
国際ロータリー第 2790 地区ガバナー
小倉純夫様 (松戸 RC)
4. クラブ協議会

進行 八日市場 RC 会長 鈴木英人

【第1部】会長方針・各委員会活動計画発表

- ・会長 八日市場 RC 会長 鈴木英人
旭 RC 会長 飯田耕司
- ・クラブ奉仕委員長
八日市場 RC(管理運営統括) 菱木智仁
旭 RC 小川恵子
- ・職業奉仕委員長
八日市場 RC 鈴木 英人会長
旭 RC 木内健一
- ・社会奉仕委員長
八日市場 RC 伊藤達裕
旭 RC 神崎薫
- ・国際奉仕委員長
八日市場 RC 鈴木勝也
旭 RC 井田孝
- ・青少年奉仕委員長
八日市場 RC 鈴木勝也
旭 RC 北側幸靖

※順序変更があります。

講評 ガバナー 小倉純夫様 (松戸 RC)

【第2部】質疑・応答

5. 総評 ガバナー 小倉純夫様 (松戸 RC)
6. 謝辞 八日市場 RC 会長 鈴木英人
(記念品贈呈 旭 RC、八日市場 RC)
7. 閉会の言葉 八日市場 RC 幹事 熱田文彦



◇会長方針 八日市場 RC 鈴木英人会長より発表がありました。



RI のテーマは「イマジンロータリー」。「昨日を創造する人は誰もいません。想像して下さい。私たちがベストを尽くせる世界を。毎朝目覚めるとき、その世界に変化をもたらせると知っています。」とあります。そして先ほど、小倉ガバナーからもお話がございましたが、地区のスローガンは、ロータリーの仲間との信頼を繋ぎ、千葉から

世界を変えていこう！であります。そして第8グループの統一のテーマは、奉仕は誰かの人生だけでなく、自分の人生も豊かにする。ということです。この辺りを繋げますと、未来を想像して、仲間と語り合い、計画し、行動することで信頼が結ばれる。地域のみならず、ロータリーアン自身も幸せになれるということなのかなと思いました。とスローガンを発信されました。八日市場ロータリークラブでは、昨年1つ目の節目である60周年を迎え、65周年、70周年に向けて新たな一歩を踏み出す年と成ります。電子ツールの発展から情報の集積、分析、伝達の速さから瞬時に情報がわかるようになりました。しかしあまりの速さからそこに至るまでのルーツやプロセスが省かれ、本当に大切なことかよくわからなくなっているかなと感じています。昔のことがよくわからなくなっているかなとも感じます。昔のことを尋ね、求め、それから新しい知識を導いていくこと、「温故知新」でしょうか。八日市場ロータリークラブでは奉仕プロジェクト委員会やロータリー財団、ロータリー研修委員会にはパスト会長に行っていたことで、ルーツやプロセス、大切な部分をお願いしてございます。親睦や国際奉仕、青少年奉仕委員会には比較的新しいメンバーを委員長にになっていただいています。当クラブでは会員の半分がパスト会長になっています。会長を受けてみて、会長は順番でまわっているというところがよいところだと思います。今日もパスト会長に大勢参加していただいています。理事会構成メンバーも若手になっていただくなど少しずつ変わってきました。食事の時間も例会前に取っていただくこととか、モニターを使って情報を流すなどしています。そしてできるだけ新しい会員には月初めに会員卓話をしていただいています。先月は中・長期戦略計画委員会を開催しました。たくさんの意見が出て、ぜひ2回目もということになりました。八日市場ロータリークラブはゆっくりではありますが、少しずつ変えて今後の活動につなげて参りたいと思います。

◇旭 RC 飯田耕司会長より計画発表がありました。



◇旭 RC 小川恵子クラブ奉仕委員長より発表がありました。



◇八日市場 RC 菱木智仁管理運営統括委員長より発表がありました。



管理運営統括委員会を担当しております菱木です。宜しくお願い致します。管理運営統括委員会は7つの委員会があります。具体的な事業計画は各委員長を中心に決定していただき、各委員会の計画を尊重し、各事業が円滑に実践でき、会員皆様にとって充実した1年になりますよう努めて参りたいと思います。また、複数の委員会による事業については各委員会と協力体制をとり進めて参りたいと考えております。具体的な内容については各委員会計画をご覧ください。

会長計画では、主にフェローシップ、会員相互の親睦を深める活動を進める。中・長期戦略計画から継続的に行われてきた奉仕活動の計画・検討をし、活性化を進める。100%例会にチャレンジ、移動例会（米山記念館見学）、会員卓話等となっております。鈴木会長の一番大事なのは「親睦」という方針に沿って活動していきたいと思っております。新型コロナウイルス感染拡大により、当初の計画通りの事業実施は困難かもしれませんが、会員皆様のご協力によりクラブの円滑な遠泳及び活動の活性化に努めてまいりますので、宜しくお願い致します。

クラブを元気にするにはどうしたら良いのか？活動計画の通りに全部できたら元気になるのかと考

えます。川口直前会長の報告に、例会場の設備の充実により居心地が良くなったとあります。雰囲気良くなったから例会に出席しよう。こんなことでもクラブが元気になるのかなとも思っています。

◇八日市場 RC 職業奉仕委員会 鈴木英人会長より発表がありました。



職業奉仕委員会では、茨城にあります鹿島アントラーズを一つのモデルとして職場訪問をしていきたいと考えております。鹿嶋市にあります、アントラーズの成り立ちや取り組みを通して、八日市場ロータリークラブが地域に貢献するためのヒントを得るということを目的に委員会の活動をしていきたいと思っております。皆さんはアントラーズの成り立ちをご存知でしょうか？もう30年も前になりますが、当時は10チームでした。4万人を収容する鹿島サッカースタジアムですが、これを作るまでには、場所的にも東京に比べると大幅に少ない人口で東京からの交通の便も悪く、前身である住友金属が低迷していました。Jリーグに参加したいといってもとてもではありませんが参加できる状態ではありませんでした。当時の川淵チェアマンは諦めさせるために、屋根付きのサッカースタジアムを作れたらいいでしょう。ということでした。なんと鹿嶋市は県に話をして今のサッカースタジアムを建てることを実現させました。今、鹿島アントラーズ株式会社となっていますがその社長はどなたかご存じでしょうか。メルカリの小泉さんという方が鹿島アントラーズの社長です。何もない地域から志を持つことによって地域を活性化させ、さらに色々な情報発信基地として実際に社長にお話を聞けるかはわかりませんが、鹿嶋市がどのように地域を活性化させたのか、今後どのように活性化させていくのかを聞けたらいいなと思い、職業奉仕の体験としてそちらを訪問させていただく予定です。小倉ガバナーにも知恵を出していただき、この東総エリアにも素晴らしい文化交流ができる拠点みたいなものを作れたらいいなと思っております。

◇旭 RC 職業奉仕委員会 木内健一さんより発表がありました。



◇八日市場 RC 社会奉仕委員会 伊藤達裕奉仕プロジェクト統括委員長より発表がありました。



社会奉仕委員会の計画のほうは、ほぼ実施済みでございます。匝瑳市には国の重要文化財であります「飯高寺：飯高壇林」というものがございませぬ。ここには常駐の管理者がおらず、ほとんどボランティアの皆さんに支えてもらっているという状況でありまして、当クラブでも30年以上前から清掃事業などで奉仕しております。今年度は地区補助金を利用して木製のベンチの寄贈させていただきました。なぜベンチかという下の駐車場から本殿まではかなりの距離がございませぬ。飯高寺の森に合うような木製のベンチを特注しまして5台ほど設置させていただきました。ベンチのほかに最近の自然災害により巨木が被害を受けましたので、飯高寺が紅葉の名所になることを期待しましてモミジを10本ほど植栽しました。日本赤十字の献血活動への協力も無事に実施しました。



(鈴木会長より補足)

地区補助金は同じことに何度も使えないということですので今回は対象を変えて使わせていただきました。



日本赤十字献血活動への協力

◇旭 RC 社会奉仕委員会 神崎薫さんより発表がありました。



◇旭 RC 国際奉仕委員会 井田孝さんより発表がありました。



◇八日市場 RC 鈴木勝也国際奉仕委員長より発表がありました。



国際奉仕委員会委員長の鈴木勝也です。当クラブの国際奉仕活動は3つです。1つ目は韓国 富平ロータリークラブとの交流、2つ目はスリランカ援助、3つ目はNPO 法人テラ・ルネッサンスへの活動援助です。

1つ目の韓国富平ロータリークラブとは、前身である北仁川ロータリークラブと1983年10月13日に友好クラブ締結調印をし、後に2017年に富平ロータリークラブに代わってから、伊藤パスト会長が訪韓し、姉妹クラブを締結しました。約40年に渡り交流を行っております。普段は1年交代で訪韓・来日を行っていますが、現在は新型コロナウイルス感染予防の観点から中止しています。本年度は当クラブ60周年記念誌と鈴木会長からの心温まる書簡を送っています。

2つ目はスリランカへの援助です。地区フェロシップ・親睦活動委員会スリランカクラブを介して今年で5年目になります。2018-19 宇野年度で当クラブ4名が里親として6名の里子を支援しています。2019-20 小川年度では1名が里子支援し、さらに浄水器21基と交換フィルター48枚を寄贈、2020-21 宇之沢年度は浄水器25基と交換フィルター50枚を寄贈し、寄贈先の1つである産婦人科の病院の医院長にオンラインで繋ぎ、当時のスリランカの悲惨な惨状を、コロナだけでなくそのほかの感染症が蔓延していると、生の声を聞かせていただき、飲める水があることの大切さを知りました。2年に渡る浄水器の寄贈先は学校、病院、警察署、寺院など数十か所に至っています。2021-22 川口年度では、スリランカがロックダウンのため、浄水器配布が困難であるということでしたので、スリランカクラブが日本語学校設立にあたり、その支援をさせていただき、その報告をスリランカクラブ副会長に卓話をさせていただきました。現在も月に1回、スリランカと結び、日本語授業を行っているとのこと。

3つ目は認定NPO 法人テラ・ルネッサンスへの活動援助です。テラ・ルネッサンスは鬼丸昌也氏が同志社大学3年の時に設立し、昨年度第8・第9グループのIMの際、オンラインで講演を行っていただきました。この団体は、「カンボジア ラオス ウガンダ コンゴ ブルンジ」そして東日本大震災の岩手県大槌の復興事業、ウクライナ-ロシア戦争が始まった際、ウクライナの隣国 ハンガリーに行き、避難民支援を行っております。そのような団体です。そして現在、円安と物価高騰のあ

おりで、6割から7割程度の活動しか出来なくなつたと聞いております。そのため、テラルネの資金サポートだけでなく、法人サポーターを募集したいと考えています。来年2月14日に当クラブで鬼丸昌也氏によるオンラインでの卓話を行う予定です。小倉ガバナー初め地区委員の皆様におかれましては、ぜひ2月14日のオンライン例会にMUしていただき、法人サポーターのご賛同を賜りたく存じます。以上、国際奉仕委員会の計画発表です。

最後になりますが、個人的に勝手に抱えている疑問です。自クラブや地区に出向させていただき活動をさせていただいていましたが、職業奉仕は兎も角、社会・国際はじめ親睦や青少年の枠がない活動をしていると感じます。例えばスリランカに浄水器を贈る。という活動、スリランカへは国際。浄水器を地域に贈るのは社会奉仕。寺院に贈るは青少年奉仕。やり方次第では親睦も絡められます。八日市場ロータリークラブは旭ロータリークラブさんと合同例会。他地区でも合同例会。以前、地区を超えて東京ロータリークラブへMUという形で例会を行いました。グループや地区の枠を超えています。昨今問題になっておりますグループ編成問題 枠組みというものをはっきりしているのかいないのか疑問に感じています。例えば柏ロータリークラブ 館山ロータリークラブ 八日市場ロータリークラブが信太ガバナー補佐の担当クラブといわれても、オペレーションの問題以外、八日市場ロータリークラブの活動に支障はあるか？特に問題は感じません。何かそのへんの委員会の枠組み、グループの枠組みなどをお教えいただけたらと思います。ロータリーは歴史がありますので古き良き伝統を守りながら、改善やかゆいところに手が届くような活動ができれば会員数の減少やクラブ数の減少の歯止めがかかるのではないかなと思っております。

◇八日市場 RC 青少年奉仕委員会 鈴木勝也国際奉仕委員長が代理で発表されました。



今年度の主な活動は2つあります。1つは恒例となりました RYLA セミナーへの参加です。自ら進

んで考え、行動することでリーダーシップとチームワークを体験し、若者の育成を進めて参ります。

2つ目はここ東総エリアに「音楽文化を構築する足掛かり」を目的に、10月16日旭市イオンモール内にあります、「おひさまテラス」にて「東総 ROCK 道場 10代のためのベースギターレッスン」を無料開催いたしました。これは、東京調布むらさきロータリークラブ「むらさきロックフェスティバル」に8月メーキャップして参りました。以前、八日市場ロータリークラブへも卓話でお越しいただいた横芝光町出身の音楽家 依知川伸一さん率いるロックバンド「BARAKA」が審査員となり、地元高校生を対象としたイベントでした。約2時間半で8組の発表があったのですが、印象的だったのは、最優秀賞を獲ったボーカルの女子高生が、きっと本番のため仲間と一生懸命練習をしてきたのでしょう。表彰の際には感極まり、言葉にならないほどグシャグシャに泣いていました。フェスティバルなので一応順位を競いあうのですが、普通では中々プロには会えませんし、直接の評価やアドバイスは高校生にとって貴重な体験となったと思います。いつかここ「0479 クラブ」東総地区で開催をして地元高校生に夢と希望にチャレンジしてもらい将来を語りあいたいものです。ちなみに0479とはこの地域の市外局番です。

訪問した東京調布むらさきロータリークラブではクラブ内にロックバンドがあり、各地のイベントにも参加しているようです。「声をかけてくれたらイベントのお手伝いもできますし、八日市場ロータリークラブにも行きますよ」と言ってくれました。来年の春頃に第2回目の「東総 ROCK 道場 10代のためのベースギターレッスン」を開く予定です。目標として、2年後、八日市場ドームを貸し切り、地元エリア内で高校生を対象に「ロックフェスティバル」を開催できたら楽しいなと思っております。

(10月19日「東総 ROCK 道場 10代のためのベースギターレッスン」の様子)





◇旭 RC 青少年奉仕委員会 北川幸靖さんより発表がありました。



【講評】

国際ロータリー第 2790 地区
2022-23 年度ガバナー 小倉純夫様



まず、クラブの方針についての会長の報告につきましては、やはりロータリーは自分の人生を豊かにするためのものだということで、八日市場ロータリークラブ 鈴木会長の若い会員に卓話をしてもらうとか、若い会員に重要な役割を担っていただくということは非常に大切なことだと思いま

す。八日市場も非常に歴史のあるクラブですので先輩の話を聞きながらクラブを運営していくのも大切なことだというお話もありました。それも非常に大切なことだと思います。旭クラブの会長からは D.E.I のお話がありました。元気なクラブを作るには D.E.I の文化を浸透させていくことは非常に大切なことだと思います。D.E.I の文化を大切にすればおのずと出席率も上がってくるのではないかと思います。長期化欠席されている方にはクラブ会長・幹事さんから電話で「来い」と声をかけていただくと非常に出やすくなると思いますし、自分はクラブから大事にされているんだと思います。そうすれば出席率も上がるでしょう。

それぞれのクラブの委員長さんの発表については、色々なことをされているんだと感じました。クラブの活性化というのは委員会活動がどれだけ活性化するかだと思います。委員会活動が活性化することによって元気なクラブができる。それが基本だと思います。クラブの個人が元気になって、クラブの委員会が活性化する。そうすればクラブ全体が元気なクラブになる。ということです。

両クラブも委員会活動を非常に熱心にされています。一つは鈴木会長から発表がありました鹿島アントラーズの視察です。職業奉仕を地域活性化というのは非常に結び付きにくいかなと思ったのですが、視察をすることによって地域を活性化するヒントを得るということは非常に着眼点が素晴らしいと感じました。

八日市場さんの飯高寺へのベンチ寄贈やモミジの植栽を地区補助金を利用してやっておられるとのことでした。地区補助金は同じ所への対象だとダメで少しずつ内容を変えていただくということで、もう 30 年ですか。非常に素晴らしい活動だと思います。これまでロータリーは陰徳ということでしたが、今はロータリーはこんなことをやっていますということを積極的に PR していく時代になったと思います。

国際奉仕はスリランカへの支援、NPO 法人テラ・ルネッサンスへの活動支援ということです。ぜひ 2 月のオンライン例会に参加させていただきたいと思います。浄水器の寄贈ですが、基本的にはスリランカということですので国際奉仕だと思いますがどこでやっても良いでしょう。色々な委員会の枠組みをどう考えているか？ということでしたが、これは非常に難しく、例えば千葉 八日市場館山 それぞれのクラブがありますがみんなロータリーです。垣根を作らず交流をしていただけれ

ばと思います。八日市場は調布むらさきロータリークラブへのイベントなどにも参加しているということです。非常に素晴らしい事だと思います。

青少年のことについていえば、ロータリーにとって大切なことだと思いますので、この地域に音楽文化をとということですが非常に素晴らしいことだと思います。子供たちにも八日市場ロータリークラブは素晴らしいことをやっているんだということが知れると思います。

感想としては以上です。

【第2部】質疑・応答

◇旭 RC 大門忠兵衛さんより質問がありました。



いくつか考えてきたのですが、例会とクラブ協議会を通して理解をしました。D.E.Iの件、月信の紙媒体の件です。一つだけ、地区としてこれから数年後どのような方向で行くのかお聞きしたいです。

◇小倉ガバナー



大変難しい質問です。地区は先ほどもお話したようにSRFという地区をなくそう、もう少し小さなまとまりとして管理をしやすくする。一方では自治権を認め、裁量権を認める方向でもあります。ガバナー制度にはお金がかかるということもあります。千葉県は1県で一つの地区です。これは非常に珍しいことで、あまりありません。地区はSRFがどのようになっていくかという事と非常に

密接になっています。SRFはまずパイロット地区で実施されます。

2025年に規定審議会があります。さらに3年後の2028年に規定審議会があります。うまく行けば2030年には全世界に適合していくという形になると思います。

【総評】

◇小倉ガバナー

長時間お疲れさまでした。この地域は通ったことはあるんですが、旭市、匝瑳市には初めて来ました。両クラブとも歴史と伝統のあるクラブで、色々な活動をお聞きして歴史と伝統を感じました。この地域のこれからの発展は皆さんの活動によって良くしていただいて、さらには千葉県を良くしていく。それが世界平和の第1歩につながります。今日は大変勉強させていただきました。ありがとうございました。

【謝辞】



本日は長時間にわたりありがとうございました。質問ですとか発表に対して本当に丁寧にお答えいただき、これからの活動に活かしていきたいと思います。ガバナー公式訪問もあと少しだと思います。大変お疲れだとは思いますが体調に留意し無事に終わることをお祈りして謝辞と代えさせていただきます。本日はありがとうございました。

【記念品贈呈】





小倉ガバナー、信太ガバナー補佐へ「ポールハリス5世（ゲッケイジュ）」を記念品として贈呈しました。

【閉会の言葉】
八日市場 RC 熱田文彦幹事

例会及びクラブ協議会の様子





Rotary

四つのテスト



言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか



花と歴史のふるさと 匝瑳市



国際ROTARY 第2790地区 第8グループ
八日市場ロータリークラブ